

橋梁技術発表会 及び 講演会

ライブ配信予定!!

開催概要

日時	令和7年11月21日(金) 13:30~16:40
会場	レソラNTT夢天神ホール 5F 福岡市中央区天神2-5-55
申込	https://www.jasbc.or.jp/ ※申込はWebサイトのみです。
申込受付期間	8月21日~11月11日
継続教育	会場参加はCPDS対象 Web参加は対象外 会場では配布いたしません。必要に応じて Webサイトより出力し持参願います。
資料	11月14日掲載予定

《開催日一覧》		
地区	開催日	申込締切
東京地区	10/03(金)	09/23(火)
大阪地区	10/17(金)	10/07(火)
北海道地区	10/24(金)	10/14(火)
中部地区	11/07(金)	10/28(火)
九州地区	11/21(金)	11/11(火)
東北地区	12/04(木)	11/25(火)

(6地区開催ですが発表テーマは異なります)



開会	13:30~13:35	開会の辞	(一社)日本橋梁建設協会
第一部 技術発表	13:35~14:10	技術発表(1) 曲線細幅箱桁橋の試設計について ~H29道示による設計の留意点~	設計小委員会
	14:10~14:45	技術発表(2) 鋼橋床版の劣化と保全について ~ コンクリート系床版の点検と補修・補強の留意点 ~	床版小委員会
	14:45~14:50	休憩	
	14:50~15:25	技術発表(3) 「ケン・ブリッチくん」と行く保全工事の世界 ~ トラス橋ってどんな橋?特徴を理解して健全に橋を守ろう! ~	保全委員会
第二部 特別講演	15:25~15:35	休憩	
	15:35~16:35	(調整中)	九州工業大学 名誉教授 山口栄輝
閉会	16:35~16:40	閉会の辞	橋梁技術発表会 実行小委員会 委員長 本田 政樹

発表概要

細幅箱桁橋は、少数I桁橋に比べて高いねじれ剛性を有することから、曲線桁などさまざまな平面線形を有する橋梁に採用されています。従前では、 $R=100\sim300\text{m}$ 程度の比較的小さな曲率半径を有する細幅箱桁橋の場合、床版コンクリートと鋼桁の合成効果を見込まない、いわゆる非合成桁として設計される場合がほとんどでした。しかし、H29年改定の道路橋示方書・同解説Ⅱ鋼橋・鋼部材編では、コンクリート系床版を有する鋼桁の設計にあたっては、床版コンクリートと鋼桁の合成作用を適切に考慮しなければならないことが規定されました。ここでは、これまで非合成桁として設計されてきたこのような比較的小さな曲率半径を有する細幅箱桁橋について、床版コンクリートと鋼桁の合成効果の影響を考慮した試設計の結果を示すとともに、その留意点について説明します。

鋼橋のコンクリート系床版は、厳しい環境による経年的な材料劣化や輪荷重による繰返し作用など構造的な要因で、損傷を受けていることがわかっております。このような床版の損傷は、5年に1度の近接目視による定期点検で変状が明らかになりつつあります。これらの背景より、鋼橋におけるコンクリート系床版の種々の点検方法から損傷評価に関する手法を示し、補修・補強工法について、事例を示すとともに、その留意点について説明します。

ドライブをしていると道路や線路などでトラス橋を目にすることがあると思います。トラス橋は軽量で桁橋に比べて支間を長くすることが可能であるため、長年に渡り河川や山間部にて建設されてきました。また、歴史的に貴重な橋梁も残っており、それらを含めて現在でも数多くのトラス橋が現役で活躍しています。トラス橋はスレンダーで大変美しい橋梁形式ですが、部材の軸方向に作用する力にだけ抵抗することができる軸部材で構成されています。この大変重要な特徴を踏まえて維持管理(補修・補強)を行わなければ健全な構造を維持することができません。本発表では、トラス橋の構造的特徴を示したうえで、それらを踏まえた損傷事例や補修・補強事例、既設橋梁の状態を把握するための現地踏査や現地計測技術についてご紹介します。